



■	説教 来るべき方を待ち望む …… 三好 明 …… 1
■	大信仰問答 CATS・愛⑥ エッセイ「序説 真に求めるべきもの」 …… 大石 周平 …… 2
■	旧約聖書に聴く「原初史が語る人間と世界」(12) 「バベルの塔」 …… 高松 牧人 …… 3
■	教会、この地とともに④ 大分中央教会 伝道開始から132年を経て …… 秦 博記 …… 4
■	スコットランドでの日々 その2 燃え尽きない柴の国より …… 小林 宏和 …… 5
■	コロナの現場⑫ 認定こども園への移行とコロナ対策と …… 小林 牧生 …… 6
■	コロナ禍の中で⑩ 御言葉のみを恐れたい …… 森下 一彦 …… 6
■	み言葉に照らされて 信仰は教会生活から …… 藤原 文子 …… 7
■	さんびかに生かされて 出会いと感謝 …… 福井 恵子 …… 7
■	鈴木和哉先生 追悼文 …… 久野 牧 …… 8
■	天満由加里先生 追悼文 …… 宇田 達夫 …… 8



きた 来るべき方を待ち望む

来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たなければなりませんか。
(ルカによる福音書7章19節)

み よし あきら
三 好 明

洗礼者ヨハネは二人の弟子をイエス・キリストのもとに遣わして、このように質問させました。彼はガリラヤの領主ヘロデの結婚を批判したために、牢の中に閉じ込められていました。そのため、自分の目でイエス・キリストの大いなる働きを見ることができませんでした。そこで、自分の弟子をイエス・キリストのもとに遣わして「あなたが本当の来るべきメシアですか？」ということ質問させたのであります。洗礼者ヨハネがそのように問うたのは、旧約聖書にやがてメシアが来て、神の民を救うということが預言されていたからです。そして、洗礼者ヨハネ自身も、「わたしはあなたたちに水で洗礼を授けるが、わたしよりも優れた方が来られる。わたしは、その方の履物のひもを解く値打ちもない。その方は、聖霊と火であなたたちに洗礼をお授けになる」(ルカ3:16)と語っていました。洗礼者ヨハネは、自分がメシアではないということを証しつつ、本当のメシアを待ち望んでいたのであります。

洗礼者ヨハネから遣わされた二人の弟子に対して、イエス・キリストは「行って、見聞きしたことをヨハネに伝えなさい」(ルカ7:22)とお答えになりました。二人の使いが見聞きしたことは、「病氣や苦しみや悪霊に悩んでいる多くの人々をいやし、大勢の盲人を見えるようにしておられた」(ルカ7:21)ということでした。そして、これらのことを、イエス・キリストは旧約聖書の預言の成就として説明されました。すなわち、「目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生

き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている」(ルカ7:22)とおっしゃいました。これらは、旧約聖書で神の救いが来たときに成就することとして預言されていたことです。それらのことが今成就していると示すことによって、イエス・キリストはご自身が「来るべき方」であるということを証されたのであります。

イエス・キリストは、2000年以上前にユダヤのベツレヘムでこの世にお生まれになりました。ですから、現代に生きる私たちにとっては「すでに来られた方」でもあります。イエス・キリストは十字架上で死んで復活し、天に昇って父なる神様の右の座に座しておられます。そして、使徒信条に「そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます」とありますように、この世の終わりに最後の審判をするために再び「来るべき方」なのであります。クリスマスの祝いの準備をするアドヴェントの季節は、メシアを待ち望んだ古い時代の人々の信仰を覚えるとともに、やがて来りたもうキリストの再臨を待ち望むときでもあります。キリストの再臨を待ち望むことによって、私たちは、神様が完全な永遠の命を用意してくださっている「来るべき世」を待ち望むことができます。そして、「来るべき世」を待ち望むことによって、「来るべき世」から今の自分と世界を見つめ直すことができます。この世の文明と命の脆さを覚えさせられる今の時代にあって、私たちは「来るべき世」の命を心から待ち望んで、終わりの日に備えつつ歩んでいきたいと思えます。

(志木北伝道所牧師)